

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](令和 1年 10月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)	
廃プラスチック類	0.0000	(t/月)
ゴムくず	0.0000	(t/月)
金属くず	0.0000	(t/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	0.0000	(t/月)
がれき類	0.0000	(t/月)
アスベスト含有 ガラス、陶磁器	35.6200	(t/月)
” がれき	0.0000	(t/月)
” 他	4.4800	(t/月)
	40.1000	(t/月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	18台	18回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り	
安定型産業廃棄物以外の 廃棄物の付着又は混入が 認められた年月日	令和	年 月 日
	令和	年 月 日
	令和	年 月 日
	令和	年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1(浸透水採水1号)	
採取日	令和1年10月7日	
分析結果が得られた日	令和1年10月23日	
BOD*2		基準値 20mg/ℓ以下
COD*2	7.9mg/ℓ	基準値 40mg/ℓ以下
異常の有無	有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日 とその内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1
採取場所	令和1年10月7日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
採取日	令和1年10月23日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
分析結果が得られた日	別紙1「場内見取図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り*3	別紙1「場内見取図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り*3	別紙1「場内見取図」及び 「地下水の計量証明書」綴りの通り*3
分析結果	異常の有無	異常の有無	異常の有無
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた 年月日とその内容	継続的監視を実施している 5-1号、7-1号、7-2号で「鉛」が 検出されました。 5-1号井戸で、0.017mg/ℓ (環境基準値をオーバー) 7-1号井戸 0.006mg/ℓ 7-2号井戸 0.007mg/ℓ です。 検体採水時に器具が井戸内の管壁 もしくはジョイント部に接触したことを 調査機関から伺いました。	管壁、ジョイント部の汚れが検体に 混入した可能性があります。 5-1号井戸のストレイナー清掃は、 長年実施しておらず、その影響も 考えられます。 場内の原状回復作業に、この夏以降 着手しており、そちらの影響も 否定できません。 環境センターと共に原因調査と 今後の対応を検討し、	管壁及びストレイナーの洗浄後に、 分析機関の採水に立ち会い、 分析を再度、実施します。 結果が出るまでは、安全管理上 処分場内への廃棄物の埋立を 10月31日以降、休止する事に 致しました。

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

点検日	令和1年10月7日
異常の有無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容*4	「場内の原状回復作業の進捗」 開発許可区域外の廃棄物を許可区域内へ移動する 本来の「原状回復作業」を開始始めました。廃棄物を掘削した 場所には、砂を埋め戻し、高さを約22.2mに調整しています。 進捗は、全体の約1/3程度と思われます。

*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか「計量証明書」を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。